

一 詩三〇六
二 詩三〇七
三 詩三〇八
四 詩三〇九
五 詩三一〇
六 詩三一〇
七 詩三一〇
八 詩三一〇
九 詩三一〇
一〇 詩三一〇
一一 詩三一〇
一二 詩三一〇
一三 詩三一〇
一四 詩三一〇
一五 詩三一〇
一六 詩三一〇
一七 詩三一〇
一八 詩三一〇
一九 詩三一〇
二〇 詩三一〇
二一 詩三一〇
二二 詩三一〇
二三 詩三一〇
二四 詩三一〇
二五 詩三一〇
二六 詩三一〇
二七 詩三一〇
二八 詩三一〇
二九 詩三一〇
三〇 詩三一〇
三一 詩三一〇
三二 詩三一〇
三三 詩三一〇
三四 詩三一〇
三五 詩三一〇
三六 詩三一〇
三七 詩三一〇
三八 詩三一〇
三九 詩三一〇
四〇 詩三一〇
四一 詩三一〇
四二 詩三一〇
四三 詩三一〇
四四 詩三一〇
四五 詩三一〇
四六 詩三一〇
四七 詩三一〇
四八 詩三一〇
四九 詩三一〇
五〇 詩三一〇
五一 詩三一〇
五二 詩三一〇
五三 詩三一〇
五四 詩三一〇
五五 詩三一〇
五六 詩三一〇
五七 詩三一〇
五八 詩三一〇
五九 詩三一〇
六〇 詩三一〇
六一 詩三一〇
六二 詩三一〇
六三 詩三一〇
六四 詩三一〇
六五 詩三一〇
六六 詩三一〇
六七 詩三一〇
六八 詩三一〇
六九 詩三一〇
七〇 詩三一〇
七一 詩三一〇
七二 詩三一〇
七三 詩三一〇
七四 詩三一〇
七五 詩三一〇
七六 詩三一〇
七七 詩三一〇
七八 詩三一〇
七九 詩三一〇
八〇 詩三一〇
八一 詩三一〇
八二 詩三一〇
八三 詩三一〇
八四 詩三一〇
八五 詩三一〇
八六 詩三一〇
八七 詩三一〇
八八 詩三一〇
八九 詩三一〇
九〇 詩三一〇
九一 詩三一〇
九二 詩三一〇
九三 詩三一〇
九四 詩三一〇
九五 詩三一〇
九六 詩三一〇
九七 詩三一〇
九八 詩三一〇
九九 詩三一〇
一〇〇 詩三一〇

一 エホバよあなたの帳幕のうちにおどらん者いたれ、あなたの聖山にすまはるもの、誰か直くおゆみ義をおこなひ、このころに眞實をいふものなり、人なるか、く人、舌をもてうしろす、この友をろてなはず、あなたの隣をばたしむる言をわけともあらず、悪に云つめるものを見て、いとひかちしめ、エホバをおろるゝもの、わたふとび誓ひして、その血の御酒をろうが、その名を口にせよ、なんふてをせし、エホバハわが罰業、またわが酒杯にうべき有なり、なんぢわが所領をまもりた、なんふて細いわがために、楽しむ地におつたり、宜わきよき罰業を文たるかな、わき、訓諭をさづけたまふ、エホバをばめつらふ、夜ハわが心おき、夜をし、わが常、エホバをわが前に、島けり、エホバ、わが右に、いませ、われ、動かさるゝこと、おかるべし、このゆゑに、わが心、いたのしみ、わが樂、いよる、ご、わが身、もまた、平安にをらん、う、汝、わがたましひを、陰府に、すて、おきた、さ、ず、あなた、の、聖者、を、墓の、なかに、朽しめ、たまはざる、可れ、なん、り、なん、ぢ、生命の、道を、わきに、示した、ま、え、ん、あなた、の、前、に、い、お、足、る、よ、ろ、て、び、あり、なん、ぢ、右に、い、も、ろ、く、の、快樂、を、こ、し、へ、に、あり

第十六篇

一 神よ、ぬがはく、我を護りたまへ、我、なん、ぢ、に、依、頼、し、わ、き、エ、ホ、バ、に、い、ら、く、なん、ぢ、が、主、な、り、なん、ぢ、の、ほ、かに、わ、が、罪、贖、ハ、な、し、地、に、お、る、聖、徒、ハ、わ、が、極、め、て、よ、ろ、と、愈、勝、せ、し、もの、な、り、エ、ホ、バ、に、か、へ、て、他、神、を、と、る、もの、悲、哀、ハ、い、や、ま、さ、ん、我、か、ま、ら、ひ、さ、く、る、血、の、御、酒、を、ろ、う、が、その、名、を、口、に、せ、な、ふ、る、を、お、ろ、る、もの、を、た、ふ、と、び、誓、ひ、し、て、その、血、の、に、罪、害、と、な、る、も、變、る、こ、と、な、し、賃、を、か、し、て、過、た、る、利、を、む、さ、げ、ら、ず、賄、賂、を、い、ま、て、無、辜、を、ろ、う、て、な、は、さ、る、な、り、掛、る、こ、と、ど、も、を、行、ふ、もの、永、遠、に、う、さ、か、さ、る、こ、と、な、か、る、べ、し

第十七篇

一 エホバよ、公義をきくたまへ、わが、哭、聲、に、み、こ、う、ろ、を、と、め、たま、へ、い、つ、は、り、あ、き、口、唇、よ、り、い、つ、る、我、が、い、の、り、に、耳、を、か、た、ふ、け、た、ま、へ、ぬ、が、は、く、ハ、わ、が、宣、告、な、ま、へ、よ、り、い、で、く、あ、ん、ぢ、の、目、公、平、を、み、た、ま、え、ん、こ、と、を、なん、ぢ、わ、が、心、を、こ、う、ら、み、ま、た、夜、わ、き、に、の、み、た、ま、へ、り、斯、て、わ、れ、を、亂、し、た、ま、へ、ど、我、に、あ、に、の、惡、念、お、る、を、も、見、出、た、ま、は、ざ、り、き、わ、が、口、ハ、み、を、犯、す、て、な、か、ら、ん、人、の、行、爲、の、こ、と、を、い、は、し、我、あ、ん、ぢ、の、く、ち、び、る、の、言、に、よ、り、て、暴、者、の、も、う、途、を、さ、げ、た、り、わ、が、歩、ハ、か、た、く、なん、ぢ、の、途、に、た、ち、わ、が、足、ハ、よ、ろ、め、く、と、な、か、り、き、神、よ、なん、ぢ、我、に、こ、た、へ、た、ま、ふ、我、な、ち、を、よ、り、ぬ、が、え、く、ハ、汝、の、耳、を、か、た、ふ、け、て、わ、が、陳、る、こ、と、を、な、き、く、た、ま、へ、なん、ぢ、に、依、頼、し、む、の、を、右、手、を、も、て、仇、す、る、もの、よ、り、救、ひ、た、ま、ふ、者、よ、ぬ、が、は、く、ハ、なん、ぢ、の、妙、な、る、仁、慈、を、あ、ら、は、し、た、ま、へ、願、ハ、い、わ、れ、を、應、じ、て、ま、く、に、ま、り、汝、の、つ、ま、ご、の、慈、に、か、く、し、我、を、な、や、む、る、あ、し、き、者、ま、た、我、を、か、て、み、て、わ、が、命、を、ろ、う、て、な、は、ん、と、す、る、仇、よ、り、の、が、ま、し、め、給、へ、か、ま、ら、ん、か、の、か、心、を、ん、ぢ、の、口、を、も、て、誇、り、に、い、へ、り、い、づ、ら、に、ま、き、往、て、こ、ろ、に、て、わ、き、ら、を、打、圍、み、わ、き、ら、を、地、に、た、ふ、さ、ん、と、目、を、ど、む、か、ま、ら、ん、抓、裂、た、ま、い、ら、だ、つ、獅、の、ご、と、く、應、や、か、な、る、ご、と、に、置、み、ま、つ、壯、獅、の、ご、と、し、エ、ホ、バ、よ、起、れ、ま、へ、ぬ、が、は、く、ハ、か、ま、に、立、脚、ひ、て、ま、を、た、ふ、し、御、劍、を、も、て、惡、き、もの、よ、り、わ、が、靈、魂、を、す、く、ひ、た、ま、へ、エ、ホ、バ、よ、手、を、も、て、人、よ、り、我、を、た、す、け、い、だ、し、た、ま、へ、お、の、が、う、く、べき、有、を、こ、の、世、に、て、う、け、汝、の、た、か、ら、に、て、ろ、の、腹、を、み、た、さ、る、よ、世、人、よ、り、我、を、た、す、け、い、だ、し、給、へ、か、ま、ら、ん、か、は、く、の、子、に、あ、き、た、り、う、の、富、貴、を、ま、ご、に、還、す、ま、ご、を、お、わ、せ、り、義、に、あ、り、て、聖、顔、を、み、目、さ、む、む、ら、む、と、き、察、光、を、も、て、飽、足、る、こ、と、を、え、ん

第十八篇

一 俗長にうたはしめたる、エホバの僕、ダビデの歌、このうたの詞、もろく、の

一 詩三〇六
二 詩三〇七
三 詩三〇八
四 詩三〇九
五 詩三一〇
六 詩三一〇
七 詩三一〇
八 詩三一〇
九 詩三一〇
一〇 詩三一〇
一一 詩三一〇
一二 詩三一〇
一三 詩三一〇
一四 詩三一〇
一五 詩三一〇
一六 詩三一〇
一七 詩三一〇
一八 詩三一〇
一九 詩三一〇
二〇 詩三一〇
二一 詩三一〇
二二 詩三一〇
二三 詩三一〇
二四 詩三一〇
二五 詩三一〇
二六 詩三一〇
二七 詩三一〇
二八 詩三一〇
二九 詩三一〇
三〇 詩三一〇
三一 詩三一〇
三二 詩三一〇
三三 詩三一〇
三四 詩三一〇
三五 詩三一〇
三六 詩三一〇
三七 詩三一〇
三八 詩三一〇
三九 詩三一〇
四〇 詩三一〇
四一 詩三一〇
四二 詩三一〇
四三 詩三一〇
四四 詩三一〇
四五 詩三一〇
四六 詩三一〇
四七 詩三一〇
四八 詩三一〇
四九 詩三一〇
五〇 詩三一〇
五一 詩三一〇
五二 詩三一〇
五三 詩三一〇
五四 詩三一〇
五五 詩三一〇
五六 詩三一〇
五七 詩三一〇
五八 詩三一〇
五九 詩三一〇
六〇 詩三一〇
六一 詩三一〇
六二 詩三一〇
六三 詩三一〇
六四 詩三一〇
六五 詩三一〇
六六 詩三一〇
六七 詩三一〇
六八 詩三一〇
六九 詩三一〇
七〇 詩三一〇
七一 詩三一〇
七二 詩三一〇
七三 詩三一〇
七四 詩三一〇
七五 詩三一〇
七六 詩三一〇
七七 詩三一〇
七八 詩三一〇
七九 詩三一〇
八〇 詩三一〇
八一 詩三一〇
八二 詩三一〇
八三 詩三一〇
八四 詩三一〇
八五 詩三一〇
八六 詩三一〇
八七 詩三一〇
八八 詩三一〇
八九 詩三一〇
九〇 詩三一〇
九一 詩三一〇
九二 詩三一〇
九三 詩三一〇
九四 詩三一〇
九五 詩三一〇
九六 詩三一〇
九七 詩三一〇
九八 詩三一〇
九九 詩三一〇
一〇〇 詩三一〇

仇焉よびサルの手より救ふときエホバに對ひてうたへるなり云く
 「エホバの力を、わき切になんぢを愛しむ。エホバはわが城、わが堅固なるいはは、わが盾、わが角、わがたかき橋なり。わを讚稱へんときエホバをよびて
 仇人よりすくはるゝことをえん。死のつな我をゆり、惡のみなきる流、わを救はせしめたり。陰間のな
 は我をかてみ死のわな我にたぢひかり。わを窮のうちにありてエホバをよび、わが神にさげびたり。
 エホバの宮よりわが聲をきうたまふ。の前にてわがよびし聲、のの耳にいまり。このときエホバ
 怒りたまひたき、地りふるひらで、き山の基、ゆるぎうごきたり。煙の鼻より、た火の口のよりいでし
 やきつくし、旅のこがため、に燃あがきり。エホバの天をたきて、臨りたまふ。の足の下、いらくらさ。とど甚
 だしく、かくてクルツに乗りて、どび風のつなびにて、翔り。開をおほひ、となし水のくらさ。のら、の密雲、どを
 うのまはりの幕とせたまへり。うのみまへの光輝、よりくらくもをへて、電ともえたる、旅とふりきたり。
 エホバの天に雷鳴をどろかさせたまへり。至上者のこのかいで、電ともえたる、旅とふりきたり。エホバ
 矢をぞんせ、てかきらを打ちら、し數えげき、電光をはなちて、かきらをうち、取りたまへり。エホバよ、期をどき
 になんぢの叱咤、となんぢの鼻のいぶき、とによりて、水の底、み交地の基、あらはせいでたり。エホバはたかき
 より手をのべ、我をとりて、大水よりひきあげ。わがつよき、仇とわきを憎むもの、とより我をたすけい、だした
 せへり。かきら、我をささりて、最強かりき。かきら、わが災害の日に、にせまきりきたれり。然、エホバはわが
 支柱ととなりたまひき。エホバはわを憐れ、たまふがゆゑ、にわをたづさへ、廣處にいたして、則けたまへ
 り。エホバはわが正義に、たがひて、恩賜をたまひ、わが手のさよきに、たがひて、恩賜をたまきたまへり。わ

一 詩百十四
 二 詩百十四
 三 詩百十四
 四 詩百十四
 五 詩百十四
 六 詩百十四
 七 詩百十四
 八 詩百十四
 九 詩百十四
 十 詩百十四
 十一 詩百十四
 十二 詩百十四
 十三 詩百十四
 十四 詩百十四
 十五 詩百十四
 十六 詩百十四
 十七 詩百十四
 十八 詩百十四
 十九 詩百十四
 二十 詩百十四
 二十一 詩百十四

エホバの道をせり、惡をなして、わが神より、えなせし、とさけき、ばなり。うのすべての審判、わがまへ
 にありて、わが神の律法をすして、とどなけれ、ばなり。わが神にむかひて、饑ゑ、とどころなく、己をまもりて、不
 義をはなせたり。この故に、エホバはわがたしき、と、の目前に、わが手のさよきに、たがひて、法にたがひて、我にむ
 くいをなし、給へり。なんぢ、憐れむもの、に、憐れむもの、と、なり、完全もの、に、完全もの、と、なり。きよき
 もの、に、潔きもの、と、なり、憐れむもの、に、ひびき、と、なり、たたまふ。うの、泣く、と、しめる、民を、すくひ、たまへ、と、高
 ぶる、目を、ひく、と、たまふ、可、れ、ば、なり。なんぢ、わが、燈火、を、ともし、給、ふ、べし、と、給、ふ、べし、と、わが、神、エホバ、わが、暗
 を、とらした、まは、れ。我、なんぢ、によりて、軍の中を、はせ、と、ど、はり、わが、神、によりて、垣、を、と、りて、ゆ。神、に、も
 うの、途、ま、た、く、エホバの、言、り、よ、し。エホバ、は、す、べて、依、頼、む、もの、の、盾、なり。うの、エホバ、の、は、か、に、神、の、た、ま
 へ、り、わが、足、を、塵、の、お、し、の、と、と、く、し、我、を、わが、高、處、に、た、く、せ、たま、ふ。神、の、わが、手、を、た、ま、か、ひ、に、な、ら、せ、て
 わが、臂、に、銅、弓、を、ひ、く、と、を、得、し、め、たま、ふ。又、なんぢ、の、救、の、盾、を、わ、れ、に、お、た、へ、た、ま、へ、り、なんぢ、の、右、手、の
 きを、と、り、と、なんぢ、の、謙、卑、を、大、な、ら、し、め、たま、へ、り。なんぢ、わが、歩、む、と、ころ、を、寬、濶、な、ら、し、め、たま、ひ、た
 れ、ば、わが、足、を、は、さ、り、き。わ、れ、仇、を、お、ひ、て、これ、に、追、及、か、れ、ら、の、は、ら、を、な、ら、し、め、り、歸、る、と、を、せ、し。わ、さ、か
 れ、ら、を、撃、て、た、つ、と、を、得、さ、ら、し、め、ん、か、れ、ら、の、わが、足、の、下、に、た、ま、へ、し。うの、なんぢ、の、戰、争、の、た、め、に、力、を
 わ、さ、に、帶、し、め、わ、れ、に、さ、か、ら、ひ、て、お、こ、り、た、つ、者、を、わが、下、に、か、ま、せ、た、ま、ひ、た、れ、ば、なり。我、を、に、く、む、者、を
 わが、滅、し、え、ん、が、た、め、に、汝、を、わ、れ、の、背、を、わ、れ、に、む、け、し、め、給、へ、り。か、れ、ら、叫、び、た、れ、ど、も、救、ふ、もの、な、く、
 エホバに對ひて、さげびたれ、と、答へ、た、ま、さ、り、き。我、か、き、ら、を、風、の、ま、へ、の、塵、の、と、と、く、に、搗、碎、さ、さ、たま、

一 詩百十三
 二 詩百十三
 三 詩百十三
 四 詩百十三
 五 詩百十三
 六 詩百十三
 七 詩百十三
 八 詩百十三
 九 詩百十三
 十 詩百十三
 十一 詩百十三
 十二 詩百十三
 十三 詩百十三
 十四 詩百十三
 十五 詩百十三
 十六 詩百十三
 十七 詩百十三
 十八 詩百十三
 十九 詩百十三
 二十 詩百十三
 二十一 詩百十三

一節	五
二節	六
三節	七
四節	八
五節	九
六節	十
七節	十一
八節	十二
九節	十三
十節	十四
十一節	十五
十二節	十六
十三節	十七
十四節	十八
十五節	十九
十六節	二十
十七節	二十一
十八節	二十二
十九節	二十三
二十節	二十四
二十一節	二十五
二十二節	二十六
二十三節	二十七
二十四節	二十八
二十五節	二十九
二十六節	三十
二十七節	三十一
二十八節	三十二
二十九節	三十三
三十節	三十四
三十一節	三十五
三十二節	三十六
三十三節	三十七
三十四節	三十八
三十五節	三十九
三十六節	四十
三十七節	四十一
三十八節	四十二
三十九節	四十三
四十節	四十四
四十一節	四十五
四十二節	四十六
四十三節	四十七
四十四節	四十八
四十五節	四十九
四十六節	五十
四十七節	五十一
四十八節	五十二
四十九節	五十三
五十節	五十四
五十一節	五十五
五十二節	五十六
五十三節	五十七
五十四節	五十八
五十五節	五十九
五十六節	六十
五十七節	六十一
五十八節	六十二
五十九節	六十三
六十節	六十四
六十一節	六十五
六十二節	六十六
六十三節	六十七
六十四節	六十八
六十五節	六十九
六十六節	七十
六十七節	七十一
六十八節	七十二
六十九節	七十三
七十節	七十四
七十一節	七十五
七十二節	七十六
七十三節	七十七
七十四節	七十八
七十五節	七十九
七十六節	八十
七十七節	八十一
七十八節	八十二
七十九節	八十三
八十節	八十四
八十一節	八十五
八十二節	八十六
八十三節	八十七
八十四節	八十八
八十五節	八十九
八十六節	九十
八十七節	九十一
八十八節	九十二
八十九節	九十三
九十節	九十四
九十一節	九十五
九十二節	九十六
九十三節	九十七
九十四節	九十八
九十五節	九十九
九十六節	一百

地のごとくに「打棄たり」なんぢがれを民のわらひより助けいだし我をわけて「もろ」の國の長とす
 したまへり「わがまゐる民」わらひにつかへん「かれら」わが事をさきて「立刻」わらひに去たり「以異邦人」のきつ
 りて「俵り」つかへん「ごとくに」びどり「哀」へて「の城」より「をの」きいでん「エホバ」の「語」をいせり「わが」誓
 り「はむべき」か「わが」わが「く」の「神」わが「び」き「か」わが「た」めに「憐」を「む」く「の異邦人」を「わき」に「服」は「せ」た「ま
 ふ」り「の神」なり「神」の「れ」を「れ」より「す」く「ひた」まへ「實」になんぢ「我」に「さ」から「ひて」起「り」た「つ」者「の」ら「に」我「を」
 かけ「おら」ぬ「人」より「我」を「た」す「け」い「だ」し「給」ふ「この」故「に」エホバ「よ」われ「もろ」く「の國」人「の」な「か」に「て」なんぢ
 に「感謝」し「なんぢ」の「名」を「傳」め「ら」た「は」ん「エホバ」の「あは」い「なる」救「を」の「王」に「わ」た「へ」の「要」脅「者」を「ヒテ」ど「う
 の」裔「に」世「々」か「き」り「な」く「憐」憐「を」た「ま」さ「ふ
 うた「の」か「み」に「聽」え「し」め「た」る「ダビデ」の「うた
 「もろ」く「の天」の「神」の「え」い「く」わ「ら」を「あ」ら「え」し「響」着「る」の「手」の「わ」き「を」ま「め」す「この」日「を」ど「を」か「の」日「に」つ
 た「へ」この「よ」知「識」を「か」の「夜」に「あ」くる「語」も「あ」い「は」さ「る」の「聲」を「こ」え「さ」る「に」この「ひ」ま「き」り「全」地「に」お「ま」ね「く
 う「の」ご「と」ば「い」地「の」は「て」に「せ」で「お」よ「ぶ」神「の」か「し」て「帷」帳「を」目「の」ため「に」ま「う」け「た」ま「へ」り「日」の「新」郎「が」い「は
 ひ「の」脚」を「い」づ「る」ご「と」く「勇」士「が」き「り」ひ「は」し「る」を「よ」る「ご」に「似」たり「この」い「た」つ「天」の「運」より「し」の「運
 り「ゆ」く「天」の「は」て「に」い「た」る「物」を「し」て「の」和「諧」を「か」う「ふ」ら「さ」る「い」な「し」エホバ「の」法「の」ま「た」く「し」て「靈」魂「を
 ひ「き」か「へ」ら「し」め「エホバ」の「證」詞「の」か「た」く「し」て「愚」者「の」を「智」か「ら」し「む」エホバ「の」訓「論」の「い」は「く「し」て「心」を「よ
 う「ご」を「し」め「エホバ」の「誠」命「り」き「よ」く「し」て「眼」を「あ」き「ら」し「む」エホバ「を」惶「み」あ「う」る「く」道「の」き「よ」く「し」て「世
 世」に「た」ゆる「ご」を「さ」く「エホバ」の「さ」さ「り」眞「實」に「し」て「ご」を「く」正「し」これ「を」眞「金」に「く」ら「ぬ」る「も」お「は」く「の
 純「精」金「に」く「ら」ぬ「る」も「彌」増「り」て「ま」た「ふ」く「こ」を「を」實「に」く「ら」ぬ「る」も「峰」す「の」滿「溢」に「く」ら「ぬ」る「も」い「や」ま「ひ
 り「て」甘「し」なんぢ「の」僕「の」に「ま」ら「し」よ「り」て「儼」然「を」う「く」こ「を」ま「ま」ら「ば」大「なる」報「實」の「ら」ん「た」を「か「の
 きの」過「失」を「ま」り「え」ん「や」ね「が」て「く」の「我」を「か「く」れ「た」る「徳」より「解」放「ち」た「ま」へ「願」く「は」なんぢ「の」僕「を」ひ「き」ど「め
 て「故」意「か」る「罪」痕「を」か「し」し「め」す「わ」が「主」た「ら」し「め」給「ふ」か「き」さ「ま」へ「わ」を「班」か「き」も「の」ど「か」り「て」大「か「る
 徳」を「ま」ぬ「か」る「く」を「え」ん「エホバ」が「わが」誓「わ」が「贖」主「よ」わ「が」く「の」言「わ」が「て」く「の」思「念」か「ん」ぢ「の」ま「へ」に「悅」だ
 る「ご」を「得」し「め」た「ま」へ
 第二十篇 俗長にうたせしめたるダビデのうた
 一 ねがはく「エホバ」か「や」み「の」日「に」なんぢ「に」こ「た」へ「ヤコブ」の「か」み「の」名「か」ん「ぢ」を「高」に「お」け「聖」所「より」援「助」を
 なんぢ「に」か「く」り「エホバ」より「能」力「を」なんぢ「に」か「た」へ「汝」の「も」ろ「の」の」獻「物」を「み」こ「ろ」に「と」め「か」ん「ぢ」の「燿
 祭」を「う」け「た」ま「え」ん「ご」を「ま」へ「ラ」ね「が」て「く」の「あ」ん「ぢ」が「て」く「の」願「望」を「ゆる」し「なんぢ」の「謀」略「を」ご「と」く「く
 透」し「め」た「ま」は「ん」ご「を」我「憐」なんぢ「の」救「に」よ「り」て「歡」び「う」た「ひ」わ「き」ら「の」神「の」名「に」よ「り」て「基」を「た」て「ん」ね「が
 ぞ「く」り「エホバ」汝「の」も「ろ」く「の」求「を」ど「び」し「め」た「ま」え「ん」ご「を」わ「き」今「エホバ」の「の」愛「脅」者「を」す「く」ひ「た」ま「え」ん
 知「る」エホバ「の」よ「き」よ「天」より「右」手「か」る「く」ひ「の」力「に」て「か」れ「に」應「た」ま「え」ん「あ「る」ひ「の」車「を」た「の」み「あ「る」ひ
 の」馬「を」た「の」み「ど」す「る」者「わ」り「さ」ま「せ」わ「ま」ら「ひ」わ「が」神「エホバ」の「名」を「と」な「へん「か「き」ら「ひ」屈「女」ま「た」れ「休」る「わ「き
 ら「ひ」起「て」か「た」く「た」て「り」エホバ「よ」王「を」す「く」ひ「た」ま「へ」わ「き」ら「が」よ「き」ど「き」應「へ」た「ま」へ
 第二十一篇 俗長にうたせしめたるダビデのうた
 一 エホバ「よ」王「の」あ「ん」ぢ「の」力「に」よ「り」て「た」の」し「み」汝「の」す「く」ひ「に」よ「り」て「奈」何「に」あ「は」い「なる」歡「喜」を「あ」さ「ん」
 九百十五

カ 詩百四十八
三 第六十九 第六十六
六 第六十二
七 第五十二

八 第五十一

九 第五十

十 第四十九

十一 第四十八

十二 第四十七

十三 第四十六

十四 第四十五

十五 第四十四

十六 第四十三

十七 第四十二

十八 第四十一

十九 第四十

二十 第三十九

二十一 第三十八

二十二 第三十七

二十三 第三十六

二十四 第三十五

二十五 第三十四

二十六 第三十三

二十七 第三十二

二十八 第三十一

親愛ハ エホバを愛する者どもあり、エホバの契約をかまらぶ而しては、^{十五}わが目のね

おエホバおびかふ、エホバわがわしを綱よりとりだしたまふ可きばかり、^{十六}ねがはくハ歸りきたりて我

をわはまみたまへ、わき獨わびしくまた苦しみを蒙り、願くハわが心のうきをゆるめ我をわきはひ

より脱かせしめたまへ、^{十七}わが患難わが辛苦をかへりみ、わがすべての罪をゆるしたまへ、わ

きかきらの戮ハおほし情あき情をもてわれをにくめり、^{十八}わがたましひをまもり我をたすけたまへ、わ

き本愧をおはしめたまふかき、^{十九}我なんちに依頼めたるなり、わきなんちを俟望じ、ねがはくハ完全と正直

とわきをまもれかし、^{二十}神よすべての愛よりイスラエルを贖ひいだしたまへ

エホバよ、ねがはくハわきを贖きたまへ、わきわが完全によりておゆみたり、^{二十一}然のみならず我たゆたは

すエホバに依頼めり、^{二十二}エホバよわきを祖しまた試みたまへ、わが臂とこころを鍛きよめたまへ、^{二十三}わ

がのいつくしみわが眼前にあり、^{二十四}我ハかんの真理によりておゆめり、わきハ虚じ人どもに座らざ

りき、^{二十五}悪をいつはりかきる者どもにハゆかし、悪をかすものゝ會をにくみ、悪者どもにすれることな

せじ、^{二十六}わき手をあらひて罪あきをわらはす、エホバよ、斯てかんの祭壇をめぐり、感謝のこゑを聞えし

め、^{二十七}すべてなんちの奇しき事をのべつたへん、エホバよ、我かんのまします家とあなが榮光のどま

る處をいつくじしむ、願くハわがたましひを罪人どもに、^{二十八}わが生命を血をながす者どもに取取めた

まふなかき、^{二十九}かゝる人の手にハわしきくはだてあり、右の手の手ハ捕略にてみ、さきどわきハわが完

全によりておゆまん、願くハわきをわがあが我をかきみたまへ、^{三十}わがわしハ本垣あるごとくにたつ、^{三十一}わ

きをもうし、^{三十二}の會のあかにてエホバを讀まづらん

第二十七篇

ダビデの歌

エホバハわが光わが救あり、^一わき罪をかおさるん、エホバハわが生命のちからなり、わが懼るべきもの

ハた多分や、^二わきの敵わきの仇あるかきもの襲きたりてわが肉をくらはんとせしが、躡きかつ下また

り、^三縦ひいづくびと營をつらねて我を攻るどもわが心おろまじ、たとハ戰ひあてりて我をせむるども我

にさは情あり、^四われ一事をエホバにてへり、我こそきをもとむ、わきエホバの美しきを仰ぎ、^五の宮をかんが

ためわが世にあらん限り、^六エホバの家にすまんとて、願ふかき、エホバハあやみの日に、^七の行宮のう

ちに我をひろませ、^八の穢屋のおくにわきをかくし、^九のうに高くあげらるべし、この故にわきエホバのまくりやにて歡喜のうへも

のを獻ん、^十わきうたひてエホバをほめたまへん、わが聲をあげてさけふとき、^{十一}エホバよ、まきく給へ、また憐み

てわきに應へたまへ、^{十二}かんとらわが顔をたつねもどめよ、^{十三}斯る聖言のありしとき、わが心かちをかむか

ひてエホバよ、^{十四}我かんの聖顔をたつねなごいへり、^{十五}ねがはくハ聖顔をかくしたまふかかれ、怒りてか

ちの僕をどほざけたまふかかれ、^{十六}汝ハわきの助あり、^{十七}噫わがすくひの神よ、われをおひだし我をすてた

まふかき、^{十八}わが父母わきをすつるども、^{十九}エホバよ、わきを迎へたまはん、^{二十}エホバよ、なんちの途をわれにし

へ、^{二十一}わが仇のゆゑに我をたひらかある途にみちびきたまへ、^{二十二}いつはり、^{二十三}の證をなすもの暴厲を吐もの我に

さからひて起りたり、^{二十四}願くハわきを仇にわたして、^{二十五}の心のまに爲しめたまふかき、^{二十六}わきもしエホ

バの恩寵をいけるもの、^{二十七}地にて見るの情あからまじかハ奈何なり、^{二十八}エホバを俟望す、^{二十九}め雄々しき汝のこ

カ 詩百四十八
三 第六十九 第六十六
六 第六十二
七 第五十二
八 第五十一
九 第五十
十 第四十九
十一 第四十八
十二 第四十七
十三 第四十六
十四 第四十五
十五 第四十四
十六 第四十三
十七 第四十二
十八 第四十一
十九 第四十
二十 第三十九
二十一 第三十八
二十二 第三十七
二十三 第三十六
二十四 第三十五
二十五 第三十四
二十六 第三十三
二十七 第三十二
二十八 第三十一
二十九 第三十
三十 第二十九
三十一 第二十八
三十二 第二十七
三十三 第二十六
三十四 第二十五
三十五 第二十四
三十六 第二十三
三十七 第二十二
三十八 第二十一
三十九 第二十
四十 第十九
四十一 第十八
四十二 第十七
四十三 第十六
四十四 第十五
四十五 第十四
四十六 第十三
四十七 第十二
四十八 第十一
四十九 第十
五十 第九
五十一 第八
五十二 第七
五十三 第六
五十四 第五
五十五 第四
五十六 第三
五十七 第二
五十八 第一
五十九 第六十
六十 第五十九
六十一 第五十八
六十二 第五十七
六十三 第五十六
六十四 第五十五
六十五 第五十四
六十六 第五十三
六十七 第五十二
六十八 第五十一
六十九 第五十
七十 第四十九
七十一 第四十八
七十二 第四十七
七十三 第四十六
七十四 第四十五
七十五 第四十四
七十六 第四十三
七十七 第四十二
七十八 第四十一
七十九 第四十
八十 第三十九
八十一 第三十八
八十二 第三十七
八十三 第三十六
八十四 第三十五
八十五 第三十四
八十六 第三十三
八十七 第三十二
八十八 第三十一
八十九 第三十
九十 第二十九
九十一 第二十八
九十二 第二十七
九十三 第二十六
九十四 第二十五
九十五 第二十四
九十六 第二十三
九十七 第二十二
九十八 第二十一
九十九 第二十
一百 第十九
一百一 第十八
一百二 第十七
一百三 第十六
一百四 第十五
一百五 第十四
一百六 第十三
一百七 第十二
一百八 第十一
一百九 第十
二百 第九
二百一 第八
二百二 第七
二百三 第六
二百四 第五
二百五 第四
二百六 第三
二百七 第二
二百八 第一
二百九 第六十
三百 第五十九
三百一 第五十八
三百二 第五十七
三百三 第五十六
三百四 第五十五
三百五 第五十四
三百六 第五十三
三百七 第五十二
三百八 第五十一
三百九 第五十
四百 第四十九
四百一 第四十八
四百二 第四十七
四百三 第四十六
四百四 第四十五
四百五 第四十四
四百六 第四十三
四百七 第四十二
四百八 第四十一
四百九 第四十
五百 第三十九
五百一 第三十八
五百二 第三十七
五百三 第三十六
五百四 第三十五
五百五 第三十四
五百六 第三十三
五百七 第三十二
五百八 第三十一
五百九 第三十
六百 第二十九
六百一 第二十八
六百二 第二十七
六百三 第二十六
六百四 第二十五
六百五 第二十四
六百六 第二十三
六百七 第二十二
六百八 第二十一
六百九 第二十
七百 第十九
七百一 第十八
七百二 第十七
七百三 第十六
七百四 第十五
七百五 第十四
七百六 第十三
七百七 第十二
七百八 第十一
七百九 第十
七百十 第九
七百十一 第八
七百十二 第七
七百十三 第六
七百十四 第五
七百十五 第四
七百十六 第三
七百十七 第二
七百十八 第一
七百十九 第六十
七百二十 第五十九
七百二十一 第五十八
七百二十二 第五十七
七百二十三 第五十六
七百二十四 第五十五
七百二十五 第五十四
七百二十六 第五十三
七百二十七 第五十二
七百二十八 第五十一
七百二十九 第五十
七百三十 第四十九
七百三十一 第四十八
七百三十二 第四十七
七百三十三 第四十六
七百三十四 第四十五
七百三十五 第四十四
七百三十六 第四十三
七百三十七 第四十二
七百三十八 第四十一
七百三十九 第四十
七百四十 第三十九
七百四十一 第三十八
七百四十二 第三十七
七百四十三 第三十六
七百四十四 第三十五
七百四十五 第三十四
七百四十六 第三十三
七百四十七 第三十二
七百四十八 第三十一
七百四十九 第三十
七百五十 第二十九
七百五十一 第二十八
七百五十二 第二十七
七百五十三 第二十六
七百五十四 第二十五
七百五十五 第二十四
七百五十六 第二十三
七百五十七 第二十二
七百五十八 第二十一
七百五十九 第二十
七百六十 第十九
七百六十一 第十八
七百六十二 第十七
七百六十三 第十六
七百六十四 第十五
七百六十五 第十四
七百六十六 第十三
七百六十七 第十二
七百六十八 第十一
七百六十九 第十
七百七十 第九
七百七十一 第八
七百七十二 第七
七百七十三 第六
七百七十四 第五
七百七十五 第四
七百七十六 第三
七百七十七 第二
七百七十八 第一
七百七十九 第六十
七百八十 第五十九
七百八十一 第五十八
七百八十二 第五十七
七百八十三 第五十六
七百八十四 第五十五
七百八十五 第五十四
七百八十六 第五十三
七百八十七 第五十二
七百八十八 第五十一
七百八十九 第五十
七百九十 第四十九
七百九十一 第四十八
七百九十二 第四十七
七百九十三 第四十六
七百九十四 第四十五
七百九十五 第四十四
七百九十六 第四十三
七百九十七 第四十二
七百九十八 第四十一
七百九十九 第四十
八百 第三十九
八百一 第三十八
八百二 第三十七
八百三 第三十六
八百四 第三十五
八百五 第三十四
八百六 第三十三
八百七 第三十二
八百八 第三十一
八百九 第三十
九百 第二十九
九百一 第二十八
九百二 第二十七
九百三 第二十六
九百四 第二十五
九百五 第二十四
九百六 第二十三
九百七 第二十二
九百八 第二十一
九百九 第二十
一千 第十九
一千一 第十八
一千二 第十七
一千三 第十六
一千四 第十五
一千五 第十四
一千六 第十三
一千七 第十二
一千八 第十一
一千九 第十
二千 第九
二千一 第八
二千二 第七
二千三 第六
二千四 第五
二千五 第四
二千六 第三
二千七 第二
二千八 第一
二千九 第六十
二千十 第五十九
二千十一 第五十八
二千十二 第五十七
二千十三 第五十六
二千十四 第五十五
二千十五 第五十四
二千十六 第五十三
二千十七 第五十二
二千十八 第五十一
二千十九 第五十
二千二十 第四十九
二千二十一 第四十八
二千二十二 第四十七
二千二十三 第四十六
二千二十四 第四十五
二千二十五 第四十四
二千二十六 第四十三
二千二十七 第四十二
二千二十八 第四十一
二千二十九 第四十
二千三十 第三十九
二千三十一 第三十八
二千三十二 第三十七
二千三十三 第三十六
二千三十四 第三十五
二千三十五 第三十四
二千三十六 第三十三
二千三十七 第三十二
二千三十八 第三十一
二千三十九 第三十
二千四十 第二十九
二千四十一 第二十八
二千四十二 第二十七
二千四十三 第二十六
二千四十四 第二十五
二千四十五 第二十四
二千四十六 第二十三
二千四十七 第二十二
二千四十八 第二十一
二千四十九 第二十
二千五十 第十九
二千五十一 第十八
二千五十二 第十七
二千五十三 第十六
二千五十四 第十五
二千五十五 第十四
二千五十六 第十三
二千五十七 第十二
二千五十八 第十一
二千五十九 第十
二千六十 第九
二千六十一 第八
二千六十二 第七
二千六十三 第六
二千六十四 第五
二千六十五 第四
二千六十六 第三
二千六十七 第二
二千六十八 第一
二千六十九 第六十
二千七十 第五十九
二千七十一 第五十八
二千七十二 第五十七
二千七十三 第五十六
二千七十四 第五十五
二千七十五 第五十四
二千七十六 第五十三
二千七十七 第五十二
二千七十八 第五十一
二千七十九 第五十
二千八十 第四十九
二千八十一 第四十八
二千八十二 第四十七
二千八十三 第四十六
二千八十四 第四十五
二千八十五 第四十四
二千八十六 第四十三
二千八十七 第四十二
二千八十八 第四十一
二千八十九 第四十
二千九十 第三十九
二千九十一 第三十八
二千九十二 第三十七
二千九十三 第三十六
二千九十四 第三十五
二千九十五 第三十四
二千九十六 第三十三
二千九十七 第三十二
二千九十八 第三十一
二千九十九 第三十
三千 第二十九
三千一 第二十八
三千二 第二十七
三千三 第二十六
三千四 第二十五
三千五 第二十四
三千六 第二十三
三千七 第二十二
三千八 第二十一
三千九 第二十
三千十 第十九
三千十一 第十八
三千十二 第十七
三千十三 第十六
三千十四 第十五
三千十五 第十四
三千十六 第十三
三千十七 第十二
三千十八 第十一
三千十九 第十
三千二十 第九
三千二十一 第八
三千二十二 第七
三千二十三 第六
三千二十四 第五
三千二十五 第四
三千二十六 第三
三千二十七 第二
三千二十八 第一
三千二十九 第六十
三千三十 第五十九
三千三十一 第五十八
三千三十二 第五十七
三千三十三 第五十六
三千三十四 第五十五
三千三十五 第五十四
三千三十六 第五十三
三千三十七 第五十二
三千三十八 第五十一
三千三十九 第五十
三千四十 第四十九
三千四十一 第四十八
三千四十二 第四十七
三千四十三 第四十六
三千四十四 第四十五
三千四十五 第四十四
三千四十六 第四十三
三千四十七 第四十二
三千四十八 第四十一
三千四十九 第四十
三千五十 第三十九
三千五十一 第三十八
三千五十二 第三十七
三千五十三 第三十六
三千五十四 第三十五
三千五十五 第三十四
三千五十六 第三十三
三千五十七 第三十二
三千五十八 第三十一
三千五十九 第三十
三千六十 第二十九
三千六十一 第二十八
三千六十二 第二十七
三千六十三 第二十六
三千六十四 第二十五
三千六十五 第二十四
三千六十六 第二十三
三千六十七 第二十二
三千六十八 第二十一
三千六十九 第二十
三千七十 第十九
三千七十一 第十八
三千七十二 第十七
三千七十三 第十六
三千七十四 第十五
三千七十五 第十四
三千七十六 第十三
三千七十七 第十二
三千七十八 第十一
三千七十九 第十
三千八十 第九
三千八十一 第八
三千八十二 第七
三千八十三 第六
三千八十四 第五
三千八十五 第四
三千八十六 第三
三千八十七 第二
三千八十八 第一
三千八十九 第六十
三千九十 第五十九
三千九十一 第五十八
三千九十二 第五十七
三千九十三 第五十六
三千九十四 第五十五
三千九十五 第五十四
三千九十六 第五十三
三千九十七 第五十二
三千九十八 第五十一
三千九十九 第五十
四千 第四十九
四千一 第四十八
四千二 第四十七
四千三 第四十六
四千四 第四十五
四千五 第四十四
四千六 第四十三
四千七 第四十二
四千八 第四十一
四千九 第四十
四千十 第三十九
四千十一 第三十八
四千十二 第三十七
四千十三 第三十六
四千十四 第三十五
四千十五 第三十四
四千十六 第三十三
四千十七 第三十二
四千十八 第三十一
四千十九 第三十
四千二十 第二十九
四千二十一 第二十八
四千二十二 第二十七
四千二十三 第二十六
四千二十四 第二十五
四千二十五 第二十四
四千二十六 第二十三
四千二十七 第二十二
四千二十八 第二十一
四千二十九 第二十
四千三十 第十九
四千三十一 第十八
四千三十二 第十七
四千三十三 第十六
四千三十四 第十五
四千三十五 第十四
四千三十六 第十三
四千三十七 第十二
四千三十八 第十一
四千三十九 第十
四千四十 第九
四千四十一 第八
四千四十二 第七
四千四十三 第六
四千四十四 第五
四千四十五 第四
四千四十六 第三
四千四十七 第二
四千四十八 第一
四千四十九 第六十
四千五十 第五十九
四千五十一 第五十八
四千五十二 第五十七
四千五十三 第五十六
四千五十四 第五十五
四千五十五 第五十四
四千五十六 第五十三
四千五十七 第五十二
四千五十八 第五十一
四千五十九 第五十
四千六十 第四十九
四千六十一 第四十八
四千六十二 第四十七
四千六十三 第四十六
四千六十四 第四十五
四千六十五 第四十四
四千六十六 第四十三
四千六十七 第四十二
四千六十八 第四十一
四千六十九 第四十
四千七十 第三十九
四千七十一 第三十八
四千七十二 第三十七
四千七十三 第三十六
四千七十四 第三十五
四千七十五 第三十四
四千七十六 第三十三
四千七十七 第三十二
四千七十八 第三十一
四千七十九 第三十
四千八十 第二十九
四千八十一 第二十八
四千八十二 第二十七
四千八十三 第二十六
四千八十四 第二十五
四千八十五 第二十四
四千八十六 第二十三
四千八十七 第二十二
四千八十八 第二十一
四千八十九 第二十
四千九十 第十九
四千九十一 第十八
四千九十二 第十七
四千九十三 第十六
四千九十四 第十五
四千九十五 第十四
四千九十六 第十三
四千九十七 第十二
四千九十八 第十一
四千九十九 第十
五千 第九
五千一 第八
五千二 第七
五千三 第六
五千四 第五
五千五 第四
五千六 第三
五千七 第二
五千八 第一
五千九 第六十
五千十 第五十九
五千十一 第五十八
五千十二 第五十七
五千十三 第五十六
五千十四 第五十五
五千十五 第五十四
五千十六 第五十三
五千十七 第五十二
五千十八 第五十一
五千十九 第五十
五千二十 第四十九
五千二十一 第四十八
五千二十二 第四十七
五千二十三 第四十六
五千二十四 第四十五
五千二十五 第四十四
五千二十六 第四十三
五千二十七 第四十二
五千二十八 第四十一
五千二十九 第四十
五千三十 第三十九
五千三十一 第三十八
五千三十二 第三十七
五千三十三 第三十六
五千三十四 第三十五
五千三十五 第三十四
五千三十六 第三十三
五千三十七 第三十二
五千三十八 第三十一
五千三十九 第三十
五千四十 第二十九
五千四十一 第二十八
五千四十二 第二十七
五千四十三 第二十六
五千四十四 第二十五
五千四十五 第二十四
五千四十六 第二十三
五千四十七 第二十二
五千四十八 第二十一
五千四十九 第二十
五千五十 第十九
五千五十一 第十八
五千五十二 第十七
五千五十三 第十六
五千五十四 第十五
五千五十五 第十四
五千五十六 第十三
五千五十七 第十二
五千五十八 第十一
五千五十九 第十
五千六十 第九
五千六十一 第八
五千六十二 第七
五千六十三 第六
五千六十四 第五
五千六十五 第四
五千六十六 第三
五千六十七 第二
五千六十八 第一
五千六十九 第六十
五千七十 第五十九
五千七十一 第五十八
五千七十二 第五十七
五千七十三 第五十六
五千七十四 第五十五
五千七十五 第五十四
五千七十六 第五十三
五千七十七 第五十二
五千七十八 第五十一
五千七十九 第五十
五千八十 第四十九
五千八十一 第四十八
五千八十二 第四十七
五千八十三 第四十六
五千八十四 第四十五
五千八十五 第四十四
五千八十六 第四十三
五千八十七 第四十二
五千八十八 第四十一
五千八十九 第四十
五千九十 第三十九
五千九十一 第三十八
五千九十二 第三十七
五千九十三 第三十六
五千九十四 第三十五
五千九十五 第三十四
五千九十六 第三十三
五千九十七 第三十二
五千九十八 第三十一
五千九十九 第三十
六千 第二十九
六千一 第二十八
六千二 第二十七
六千三 第二十六
六千四 第二十五
六千五 第二十四
六千六 第二十三
六千七 第二十二
六千八 第二十一
六千九 第二十
六千十 第十九
六千十一 第十八
六千十二 第十七
六千十三 第十六
六千十四 第十五
六千十五 第十四
六千十六 第十三
六千十七 第十二
六千十八 第十一
六千十九 第十
六千二十 第九
六千二十一 第八
六千二十二 第七
六千二十三 第六
六千二十四 第五
六千二十五 第四
六千二十六 第三
六千二十七 第二
六千二十八 第一
六千二十九 第六十
六千三十 第五十九
六千三十一 第五十八
六千三十二 第五十七
六千三十三 第五十六
六千三十四 第五十五
六千三十五 第五十四
六千三十六 第五十三
六千三十七 第五十二
六千三十八 第五十一
六千三十九 第五十
六千四十 第四十九
六千四十一 第四十八
六千四十二 第四十七
六千四十三 第四十六
六千四十四 第四十五
六千四十五 第四十四
六千四十六 第四十三
六千四十七 第四十二
六千四十八 第四十一
六千四十九 第四十
六千五十 第三十九
六千五十一 第三十八
六千五十二 第三十七
六千五十三 第三十六
六千五十四 第三十五
六千五十五 第三十四
六千五十六 第三十三
六千五十七 第三十二
六千五十八 第三十一
六千五十九 第三十
六千六十 第二十九
六千六十一 第二十八
六千六十二 第二十七
六千六十三 第二十六
六千六十四 第二十五
六千六十五 第二十四
六千六十六 第二十三
六千六十七 第二十二
六千六十八 第二十一
六千六十九 第二十
六千七十 第十九
六千七十一 第十八
六千七十二 第十七
六千七十三 第十六
六千七十四 第十五
六千七十五 第十四
六千七十六 第十三
六千七十七 第十二
六千七十八 第十一
六千七十九 第十
六千八十 第九
六千八十一 第八
六千八十二 第七
六千八十三 第六
六千八十四 第五
六千八十五 第四
六千八十六 第三
六千八十七 第二
六千八十八 第一
六千八十九 第六十
六千九十 第五十九
六千九十一 第五十八
六千九十二 第五十七
六千九十三 第五十六
六千九十四 第五十五
六千九十五 第五十四
六千九十六 第五十三
六千九十七 第五十二
六千九十八 第五十一
六千九十九 第五十
七千 第四十九
七千一 第四十八
七千二 第四十七
七千三 第四十六
七千四 第四十五
七千五 第四十四
七千六 第四十三
七千七 第四十二
七千八 第四十一
七千九 第四十
七千十 第三十九
七千十一 第三十八
七千十二 第三十七
七千十三 第三十六
七千十四 第三十五
七千十五 第三十四
七千十六 第三十三
七千十七 第三十二
七千十八 第三十一
七千十九 第三十
七千二十 第二十九
七千二十一 第二十八
七千二十二 第二十七
七千二十三 第二十六
七千二十四 第二十五
七千二十五 第二十四
七千二十六 第二十三
七千二十七 第二十二
七千二十八 第二十一
七千二十九 第二十
七千三十 第十九
七千三十一 第十八
七千三十二 第十七
七千三十三 第十六
七千三十四 第十五
七千三十五 第十四
七千三十六 第十三
七千三十七 第十二
七千三十八 第十一
七千三十九 第十
七千四十 第九
七千四十一 第八
七千四十二 第七
七千四十三 第六
七千四十四 第五
七千四十五 第四
七千四十六 第三
七千四十七 第二
七千四十八 第一
七千四十九 第六十
七千五十 第五十九
七千五十一 第五十八
七千五十二 第五十七
七千五十三 第五十六
七千五十四 第五十五
七千五十五 第五十四
七千五十六 第五十三
七千五十七 第五十二
七千五十八 第五十一
七千五十九 第五十
七千六十 第四十九
七千六十一 第四十八
七千六十二 第四十七
七千六十三 第四十六
七千六十四 第四十五
七千六十五 第四十四
七千六十六 第四十三
七千六十七 第四十二
七千六十八 第四十一
七千六十九 第四十
七千七十 第三十九
七千七十一 第三十八
七千七十二 第三十七
七千七十三 第三十六
七千七十四 第三十五
七千七十五 第三十四
七千七十六 第三十三
七千七十七 第三十二
七千七十八 第三十一
七千七十九 第三十
七千八十 第二十九
七千八十一 第二十八
七千八十二 第二十七
七千八十三 第二十六
七千八十四 第二十五
七千八十五 第二十四
七千八十六 第二十三
七千八十七 第二十二
七千八十八 第二十一
七千八十九 第二十
七千九十 第十九
七千九十一 第十八
七千九十二 第十七
七千九十三 第十六
七千九十四 第十五
七千九十五 第十四
七千九十六 第十三
七千九十七 第十二
七千九十八 第十一
七千九十九 第十
八千 第九
八千一 第八
八千二 第七
八千三 第六
八千四 第五
八千五 第四
八千六 第三
八千七 第二
八千八 第一
八千九 第六十
八千十 第五十九
八千十一 第五十八
八千十二 第五十七
八千十三 第五十六
八千十四 第五十五
八千十五 第五十四
八千十六 第五十三
八千十七 第五十二
八千十八 第五十一
八千十九 第五十
八千二十 第四十九
八千二十一 第四十八
八千二十二 第四十七
八千二十三 第四十六
八千二十四 第四十五
八千二十五 第四十四
八千二十六 第四十三
八千二十七 第四十二
八千二十八 第四十一
八千二十九 第四十
八千三十 第三十九
八千三十一 第三十八
八千三十二 第三十七
八千三十三 第三十六
八千三十四 第三十五
八千三十五 第三十四
八千三十六 第三十三
八千三十七 第三十二
八千三十八 第三十一
八千三十九 第三十
八千四十 第二十九
八千四十一 第二十八
八千四十二 第二十七
八千四十三 第二十六
八千四十四 第二十五
八千四十五 第二十四
八千四十六 第二十三
八千四十七 第二十二
八千四十八 第二十一
八千四十九 第二十
八千五十 第十九
八千五十一 第十八
八千五十二 第十七
八千五十三 第十六
八千五十四 第十五
八千五十五 第十四
八千五十六 第十三
八千五十七 第十二
八千五十八 第十一
八千五十九 第十
八千六十 第九
八千六十一 第八
八千六十二 第七
八千六十三 第六
八千六十四 第五
八千六十五 第四
八千六十六 第三
八千六十七 第二
八千六十八 第一
八千六十九 第六十
八千七十 第五十九
八千七十一 第五十八
八千七十二 第五十七
八千七十三 第五十六
八千七十四 第五十五
八千七十五 第五十四
八千七十六 第五十三
八千七十七 第五十二
八千七十八 第五十一
八千七十九 第五十
八千八十 第四十九
八千八十一 第四十八
八千八十二 第四十七
八千八十三 第四十六
八千八十四 第四十五
八千八十五 第四十四
八千八十六 第四十三
八千八十七 第四十二
八千八十八 第四十一
八千八十九 第四十
八千九十 第三十九
八千九十一 第三十八
八千九十二 第三十七
八千九十三 第三十六
八千九十四 第三十五
八千九十五 第三十四
八千九十六 第三十三
八千九十七 第三十二
八千九十八 第三十一
八千九十九 第三十
九千 第二十九
九千一 第二十八
九千二 第二十七
九千三 第二十六
九千四 第二十五
九千五 第二十四
九千六 第二十三
九千七 第二十二
九千八 第二十一
九千九 第二十
九千十 第十九
九千十一 第十八
九千十二 第十七
九千十三 第十六
九千十四 第十五
九千十五 第十四
九千十六 第十三
九千十七 第十二
九千十八 第十一
九千十九 第十
九千二十 第九
九千二十一 第八
九千二十二 第七
九千二十三 第六
九千二十四 第五
九千二十五 第四
九千二十六 第三
九千二十七 第二
九千二十八 第一
九千二十九 第六十
九千三十 第五十九
九千三十一 第五十八
九千三十二 第五十七
九千三十三 第五十六
九千三十四 第五十五
九千三十五 第五十四
九千三十六 第五十三
九千三十七 第五十二
九千三十八 第五十一
九千三十九 第五十
九千四十 第四十九
九千四十一 第四十八
九千四十二 第四十七
九千四十三 第四十六
九千四十四 第四十五
九千四十五 第四十四
九千四十六 第四十三
九千四十七 第四十二
九千四十八 第四十一
九千四十九 第四十
九千五十 第三十九
九千五十一 第三十八
九千五十二 第三十七
九千五十三 第三十六
九千五十四 第三十五
九千五十五 第三十四
九千五十六 第三十三
九千五十七 第三十二
九千五十八 第三十一
九千五十九 第三十
九千六十 第二十九
九千六十一 第二十八
九千六十二 第二十七
九千六十三 第二十六
九千六十四 第二十五
九千六十五 第二十四
九千六十六 第二十三
九千六十七 第二十二
九千六十八 第二十一
九千六十九 第二十
九千七十 第十九
九千七十一 第十八
九千七十二 第十七
九千七十三 第十六
九千七十四 第十五
九千七十五 第十四
九千七十六 第十三
九千七十七 第十二
九千七十八 第十一
九千七十九 第十
九千八十 第九
九千八十一 第八
九千八十二 第七
九千八十三 第六
九千八十四 第五
九千八十五 第四
九千八十六 第三
九千八十七 第二
九千八十八 第一
九千八十九 第六十
九千九十 第五十九
九千九十一 第五十八
九千九十二 第五十七
九千九十三 第五十六
九千九十四 第五十五
九千九十五 第五十四
九千九十六 第五十三
九千九十七 第五十二
九千九十八 第五十一
九千九十九 第五十
一万 第四十九
一万一 第四十八
一万二 第四十七
一万三 第四十六
一万四 第四十五
一万五 第四十四
一万六 第四十三
一万七 第四十二
一万八 第四十一
一万九 第四十
一万十 第三十九
一万十一 第三十八
一万十二 第三十七
一万十三 第三十六
一万十四 第三十五
一万十五 第三十四
一万十六 第三十三
一万十七 第三十二
一万十八 第三十一
一万十九 第三十
一万二十 第二十九
一万二十一 第二十八
一万二十二 第二十七
一万二十三 第二十六
一万二十四 第二十五
一万二十五 第二十四
一万二十六 第二十三
一万二十七 第二十二
一万二十八 第二十一
一万二十九 第二十
一万三十 第十九
一万三十一 第十八
一万三十二 第十七
一万三十三 第十六
一万三十四 第十五
一万三十五 第十四
一万三十六 第十三
一万三十七 第十二
一万三十八 第十一
一万三十九 第十
一万四十 第九
一万四十一 第八
一万四十二 第七
一万四十三 第六
一万四十四 第五
一万四十五 第四
一万四十六 第三
一万四十七 第二
一万四十八 第一
一万四十九 第六十
一万五十 第五十九
一万五十一 第五十八
一万五十二 第五十七
一万五十三 第五十六
一万五十四 第五十五
一万五十五 第五十四
一万五十六 第五十三
一万五十七 第五十二
一万五十八 第五十一
一万五十九 第五十
一万六十 第四十九
一万六十一 第四十八
一万六十二 第四十七
一万六十三 第四十六
一万六十四 第四十五
一万六十五 第四十四
一万六十六 第四十三
一万六十七 第四十二
一万六十八 第四十一
一万六十九 第四十
一万七十 第三十九
一万七十一 第三十八
一万七十二 第三十七
一万七十三 第三十六
一万七十四 第三十五
一万七十五 第三十四
一万七十六 第三十三
一万七十七 第三十二
一万七十八 第三十一
一万七十九 第三十
一万八十 第二十九
一万八十一 第二十八
一万八十二